カメラ機能を使う

バックビューモニターを使う

別売のバックビューモニターを接続すると、車の後方を本機のモニター画面で確認することができます。
バックビューモニターをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→*「カメラの入力設定をする」(P120)*

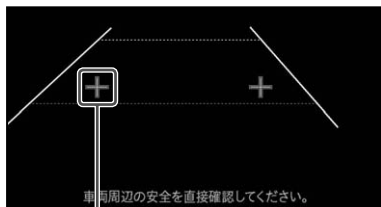
バックビューモニターの映像を表示する

注意

- **バックビューモニターの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。バックビューモニターの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。**

1 シフトレバーをR（リバース）の位置にする

▼

バックビューモニターの映像が表示されます。

バックドアオープン時の目安点

メモ

- バックビューモニターの映像を表示中に✱（オプションボタン）を押すとサイドブラインドモニターの映像に切り換わります。（サイドブラインドモニターがONの場合）
- バックビューモニターの映像を表示中は（フロントサイドビューモニタースイッチ）を押してもフロントサイドビューモニターの映像には切り換わりません。
- シフトレバーを他のギアに切り換えると、画面表示は元の映像に切り換わります。
- バックビューモニターの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。
- バックビューモニターの映像を表示中に メニュー を長く押すと、画質調整画面 *(→P236)* が表示され、画質を調整することができます。

バックビューモニター映像のガイド線の表示／非表示を設定する

注意

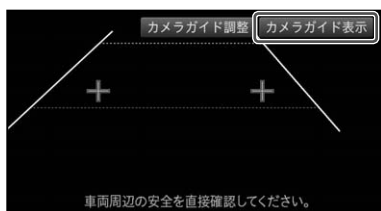
- **ガイド線は、車種設定 *(→P109)* で設定した車種に応じて表示されます。必ず事前に車種設定を行ってください。**

1 バックビューモニターの映像表示中に画面にタッチする

▼

カメラガイド表示 と **カメラガイド調整** が表示されます。

2 カメラガイド表示 にタッチする

タッチするごとにバックビューモニターのガイド線と **カメラガイド調整** の表示／非表示が切り換わります。

メモ

- 工場出荷時は、バックビューモニターの映像を表示するとガイド線が表示されます。

・カメラガイド表示 と カメラガイド調整 は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

バックビューモニター映像のガイド線を調整する

注意

- ガイド線調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチを OFF にしてエンジンを停止してください。

1 車両の幅＋両側約25cm、車両後端から後ろ側へ＋約50cmと＋約2mの位置にガムテープなどで目印をつける

2 パーキングブレーキを引いて カメラガイド調整 にタッチする

メモ

・あらかじめガイド線を表示しておいてください。(→P208)

3 ▲ または ▼ にタッチする

初期値	車種設定によって自動的に設定された位置に戻ります。
戻る	ガイド調整を終了します。

▼

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する

初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順 3 の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順 3 の画面に戻ります。
▲／▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)⇔赤(R)⇔緑(L)⇔緑(R)⇔青十字(L)⇔青十字(R)の順にカーソル位置を変更します。
⇧／⇩／⇦／⇨	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

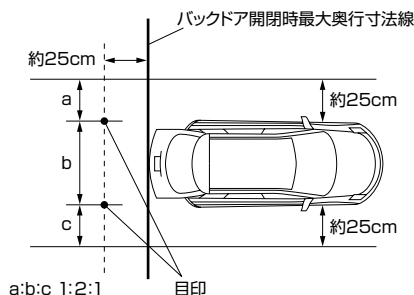
注意

- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。またバックビューモニターの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

バックビューモニター映像のバックドア目安点を調整する

注意

- バックドア目安点調整をする際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチを OFF にしてエンジンを停止してください。

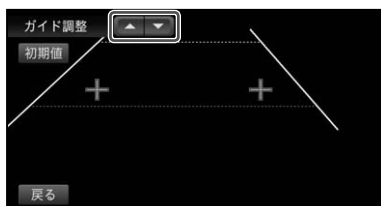
1 バックドアが一番後方に広がるとき、ドア後端から後ろ側へ約25cmの位置で、下図のa, b, cの長さの比がそれぞれ1：2：1になるように目印をつける

2 パーキングブレーキを引いて カメラガイド調整 にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。*(→P208)*

3 ▲ または ▼ にタッチする

初期値	車種設定によって自動的に設定された位置に戻ります。
戻る	ガイド調整を終了します。

▼

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 ▲ または ▼ にタッチして＋の位置にカーソルを合わせ、＋の位置を調整する

初期値	ポイントを調整前(前回保存した状態)の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順 3 の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順 3 の画面に戻ります。
▲／▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、赤(L)⇔赤(R)⇔緑(L)⇔緑(R)⇔青十字(L)⇔青十字(R)の順にカーソル位置を変更します。
⇧／⇩／⇦／⇨	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

注意

- バックビューモニターが映し出す範囲には限界があります。またバックビューモニターの画面上に表示される車幅・距離ガイド線は、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。(ガイド線は直線となります。)
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。

サイドブラインドモニターを使う

別売のサイドブラインドモニターを接続すると、車の左サイド前輪付近から前方を本機のモニター画面で確認することができます。
サイドブラインドモニターをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→*「カメラの入力設定をする」(P120)*

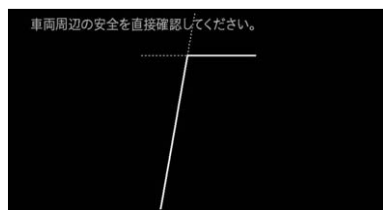
サイドブラインドモニターの映像を表示する

注意

- **サイドブラインドモニターの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。**

1 (✱)(オプションボタン)を押す

▼

サイドブラインドモニターの映像が表示されます。

メモ

- 何も操作をしないと、サイドブラインドモニターの映像は約3分間で消えます。もう一度サイドブラインドモニターの映像を表示させたい場合は、(✱)(オプションボタン)を押します。
- サイドブラインドモニターの映像を表示中に、(✱)(オプションボタン)を押すと、サイドブラインドモニターの映像が解除されます。
- サイドブラインドモニターの映像を表示中に(メニュー)を長く押すと、画質調整画面*(→P236)*が表示され、画質を調整することができます。
- サイドブラインドモニターの映像を表示中に(フロントサイドビューモニタースイッチ)を押すと、フロントサイドビューモニターの映像に切り換わります。(フロントサイドビューモニターがONの場合)
- サイドブラインドモニターの映像を表示中にシフトレバーをR(リバース)に入れると、バックビューモニターの映像に切り換わります。(バックビューモニターがONの場合)
- サイドブラインドモニターの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。

サイドブラインドモニター映像のガイド線の表示/非表示を設定する

注意

- **ガイド線は、車種設定*(→P109)*で設定した車種に応じて表示されます。必ず事前に車種設定を行ってください。**
- **ガイド線の初期表示位置は、実際のお車よりも前側および左側にガイド線が表示される場合があります。**

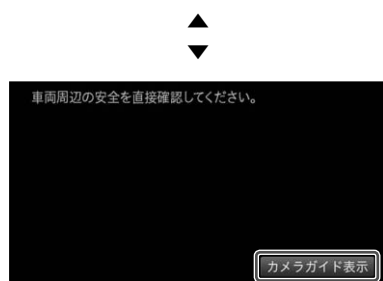
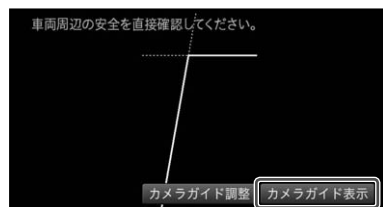
1 サイドブラインドモニターの映像表示中に画面にタッチする

▼

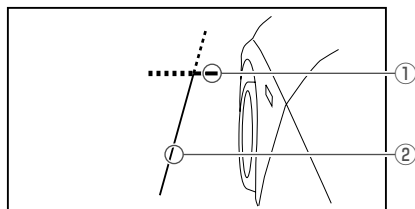
カメラガイド表示 と カメラガイド調整 が表示されます。

つづく→

2 カメラガイド表示 にタッチする

タッチするごとにサイドブラインドモニターのガイド線と カメラガイド調整 の表示/非表示が切り換わります。

メモ

- 工場出荷時は、サイドブラインドモニターの映像を表示するとガイド線が表示されます。
- カメラガイド表示 と カメラガイド調整 は、何も操作しないと約4秒で消えます。画面にタッチすると再表示します。

ガイド線の見かた

① **車両前方ガイド線**

車両前方の位置の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

② **車両側方ガイド線**

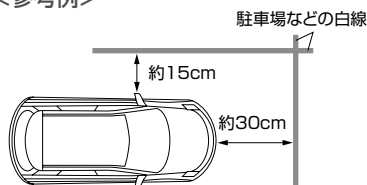
ドアミラーを含めた車幅の目安を示します。延長部分が破線で表示されます。

サイドブラインドモニター映像のガイド線を調整する

注意

- ガイド線を調整する際には、車を安全な場所に停車して行ってください。
- 車を降りて目印を付ける際には、必ず車のキースイッチを OFF にしてエンジンを停止してください。

1 駐車場の白線などの目印に対して、次図のように車両を停車する

<参考例>

※利用できる目印がない場合は下記のイラストを参考に車両の左側と前側の地面に目印をつける。

<参考例>

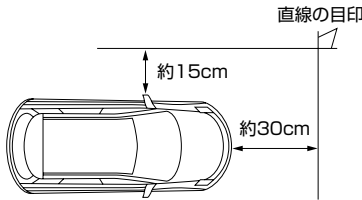
車両左側

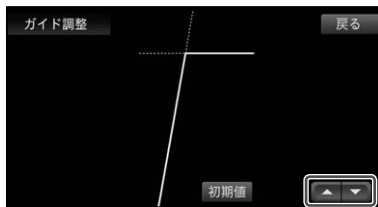
左ドアミラーの先端に長い棒状のもの（ほうきの柄など）を垂直に立て、地面に接した地点から左側へ＋約15cmの位置にガムテープなどで直線の目印をつける。

車両前側

フロントバンパーの前側に長い棒状のもの（ほうきの柄など）を垂直に立て、地面に接した地点から前側へ＋約30cmの位置にガムテープなどで直線の目印をつける。

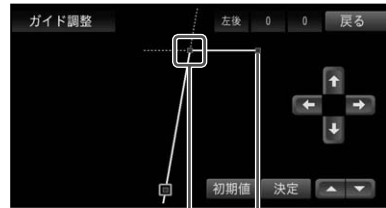
2 パーキングブレーキを引いて カメラガイド調整 にタッチする

メモ

- あらかじめガイド線を表示しておいてください。（→P211）

3 ▲ または ▼ にタッチする

初期値	車種設定によって自動的に設定された位置に戻ります。
戻る	ガイド調整を終了します。

▼

調整ポイント選択画面が表示されます。

4 カーソル位置を選択してポイントを調整する

初期値	ポイントを調整前（前回保存した状態）の位置へ戻します。
決定	設定を保存して、手順 3 の画面に戻ります。
戻る	設定を破棄して、手順 3 の画面に戻ります。
▲／▼	現在のカーソル位置の調整結果を保存し、左後↔左前↔前の順にカーソル位置を変更します。
⇧／⇩／⇦／⇨	選んだカーソル位置のポイントを上下左右に動かします。

注意

- サイドブラインドモニターが映し出す映像の範囲には限度があります。前進右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。
- サイドブラインドモニターは、障害物などの確認のための補助装置です。
- サイドブラインドモニターの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。
- ドアミラーを格納した状態では使用しないでください。適切な範囲を映すことができません。
- サイドブラインドモニターの映像は広角レンズを使用していますので、実際の距離と感覚が異なります。ゆっくり運転してください。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周辺部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露が発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。

つづく→

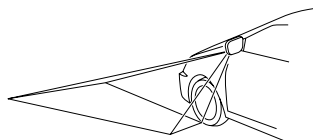
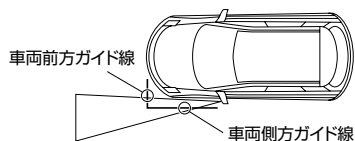
- カメラ部は精密機器のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- ✱（オプションボタン）を押すと、サイドブラインドモニターの映像を約３分間表示し続けます。車のシフトレバーをＲ（リバース）に入れているときは３分タイマーは作動しません。
- サイドブラインドモニター表示中に現在地を押すと映像は地図画面に切り換わります。他のボタンを押すと画面が切り換わります。ただし、バックビューモニターがONでシフトレバーをR(リバース)に入れている場合は現在地、他のボタンを押しても画面は切り換わりません。✱（オプションボタン）を押した場合は、バックビューモニターへ切り換わります。
- モニター画面に表示される車両前方ガイド線、車両側方ガイド線はあくまでも目安です。また、車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによって車両前方ガイド線、車両側方ガイド線の位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- ターンランプの光が車両側方ガイド線と重なる場合がありますが、故障ではありません。

サイドブラインドモニターについて

カメラの位置

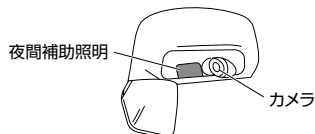
夜間補助照明は、赤外線照明をしているので、夜間でも映像を映し出すことができます。

映し出す範囲

車種により映し出す範囲は異なります。

使用例

こんなときに使用すると便利です。

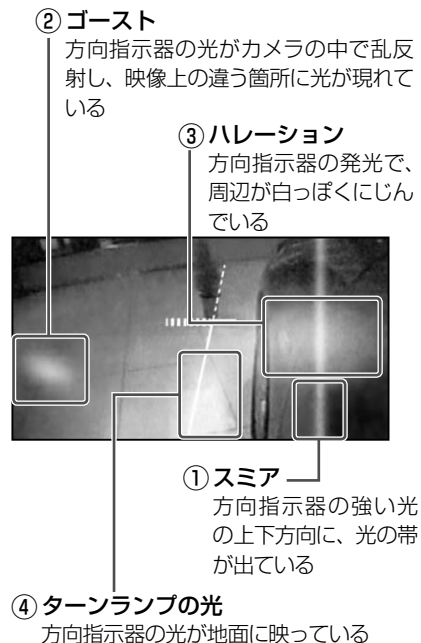
＜道路端への幅寄せ駐車＞

＜狭い道でのすれ違い＞

お手入れについて

- カメラレンズ部に泥、雨滴、雪などが付着すると、サイドブラインドモニターの映りが悪くなりますので、ぬれたやわらかい布で汚れをふき取ったあと、乾いたやわらかい布でふき取ってください。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどでカメラレンズ部をふかないでください。変色などの原因になります。汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をしみこませた布でふいてから、からぶきをしてください。
- カメラ部には傷を付けないでください。モニター画面へ影響が出ることがあります。
- 車のボディワックスをカメラ窓部に付けないでください。付いてしまった場合は、きれいな布に水で薄く溶かした中性洗剤を含ませて、ワックスを落としてください。

使用上のご注意

- ✱（オプションボタン）を押すと、モニター上の画面はサイドブラインドモニターの映像に切り換わりますが、テレビなどの音声は聞こえます。
- ✱（オプションボタン）を押してから、サイドブラインドモニター映像が表示されるまで多少時間がかかることがあります。また、完全に表示されるまでに一瞬映像が乱れることがあります。
- サイドブラインドモニターが３分間のタイムアウトになってから画面が切り換わるまで多少時間がかかることがあります。また、完全に表示されるまでに一瞬映像が乱れることがあります。
- 温度が極端に高いときや低いときは、映りが悪くなることがありますが、故障ではありません。
- 蛍光灯の下では、画面にちらつきが出ることがありますが、故障ではありません。
- サイドブラインドモニターの映像は、赤外線カメラを使用しているため、実際の色味とは多少異なることがありますが、故障ではありません。
- サイドブラインドモニターの補助照明は赤外線照明を使用しているため、目には見えませんが、故障ではありません。
- 暗いところや夜間では、映像の映りが悪くなったり、映像が青っぽくなりますが、故障ではありません。
- 夜間雨天時には、補助照明の光が鏡面反射してしまい、映像が暗くなりますが、故障ではありません。
- 映像に白い縦線（①スミア）が出ることがありますが、フェンダーなどからの強い反射光が入ったためで故障ではありません。
- 直接カメラに強い光が入ったり、夜間や暗いところで方向指示器や非常点滅表示灯をつけたり（道路交通法施行令第18条より）したときに、映像に「②ゴースト」や「③ハレーション」、「④ターンランプの光」のような現象が出ることがありますが、故障ではありません。

夜間に左側方向指示器を点滅させたときの、サイドブラインドモニターの映像の例

フロントサイドビューモニターを使う

別売のフロントサイドビューモニターを接続すると、車の前方両側を本機のモニター画面で確認することができます。
フロントサイドビューモニターをお使いになる場合は、あらかじめカメラの入力設定を行ってください。→*「カメラの入力設定をする」(P120)*

フロントサイドビューモニターの映像を表示する

フロントサイドビューモニターは、停止時または低速走行時に表示させることができます。見通しの悪いT字路などで表示すると便利です。

注意

- **フロントサイドビューモニターの映像だけを見ながらの運転は、絶対に行わないでください。前進、右左折するときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。**

1 停止時または低速走行時に（フロントサイドビューモニタースイッチ）を押す

▼

フロントサイドビューモニターの映像が表示されます。

メモ

- （オプションボタン）を押すとサイドブラインドモニターの映像に切り換わります。（サイドブラインドモニターがONの場合）
- フロントサイドビューモニターの映像は約30秒間で消えます。もう一度フロントサイドビューモニターの映像を表示させたい場合は、（フロントサイドビューモニタースイッチ）を押します。
- フロントサイドビューモニターの映像を表示中に、（フロントサイドビューモニタースイッチ）を押すとフロントサイドビューモニターの映像が再表示されます。現在地 を押すと、フロントサイドビューモニターの映像が解除されます。他のボタンを押すと画面が切り換わります。
- フロントサイドビューモニターの映像を表示中に メニュー を長く押すと、画質調整画面（→*P236*）が表示され、画質を調整することができます。
- フロントサイドビューモニターの映像を表示中にシフトレバーをR（リバース）に入れると、バックビューモニターの映像に切り換わります。（バックビューモニターがONの場合）
- フロントサイドビューモニターの映像を表示している間は、車両周辺確認のメッセージが表示されます。

カメラ登録地として登録して自動で表示させる

自動で表示させるためには、表示させる地点を「カメラ登録地」として登録しておく必要があります。フロントサイドビューモニターの映像を表示した場所を、「カメラ登録地」として登録しておくと、次回その場所に近づいたときにフロントサイドビューモニターの映像を自動表示させることができます。

1 フロントサイドビューモニターの映像表示中に 地点登録 にタッチする

▼

カメラ登録地として登録されます。

▼

カメラ登録地に近づき、低速走行（約13 km/h以下）になった場合、自動的にフロントサイドビューモニターの映像が表示されます。

メモ

- 手順 1 の操作では場所のみ登録されます。方向の指定は手動で設定してください。→*「フロントサイドビューモニター映像を自動表示する方向を指定する」(P75)*
- 場所探して「カメラ登録地」として登録することもできます。→*「場所を登録する」(P72)*
- バックカメラの映像表示中は、自動表示しません。